

# 新入生のためのMSパワーポイントを用いたハンドアウト作成入門

神戸大学国際文化学研究所  
外国語教育論講座  
石川慎一郎ゼミ  
<http://language.sakura.ne.jp/s/>



## 概要

- 学内講座集団指導、学外学会・研究会等のハンドアウト作成にあたって、当研究室では、読みやすくコンパクトな資料作成を推奨します。
- 10～20分程度の研究報告・研究発表の場合、当研究室が推奨するハンドアウト用スライド枚数は、片面16枚、もしくは両面印刷できる場合、片面9枚×2＝合計18枚です。

## 2つの方針

- 当研究室では、ハンドアウト作成において、下記の2点を推奨します。
- (1)スライド枚数の圧縮
- (2)スライド印刷の工夫

## スライド枚数の圧縮

- 発表用スライドとハンドアウト用スライドは別物です。通例、ハンドアウト用では発表用スライドの一部をカットします。
- 【カット可能なもの】
  - 扉スライド(「はじめに」などの章題スライド等)
  - イメージ画像スライド(1枚全部がイラスト、写真のものなど)
  - 研究動機などのスライド(場合による)
  - 参考文献スライド(場合による)
- 【カットしてはいけないもの】
  - 表紙スライド(学会名、日時、発表者目、題目を明記。学外発表の場合はe-mailも)
  - 先行研究や数値など、資料性のあるデータを含むスライド

## スライド印刷の工夫

- MSパワーポイントの標準設定ではなく、外部プリンタ側で印刷枚数設定を行うことで、同じ枚数(A4用紙1枚あたりn枚)でも、余白が少なく、文字が読みやすいスライドを作ることができます。

## 通常設定での印刷(非推奨)

- 通常は、パワーポイントの印刷ダイアログで、配布資料<6スライド、9スライドなどを選びますが、この設定では余白が巨大になり、肝心のスライド部分が非常に小さく読みにくくなります。



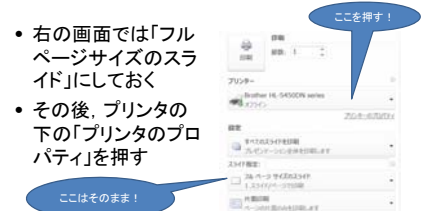
## 通常設定での印刷イメージ(非推奨)

- 通常設定(1枚当たり9スライド)だと、右のようになり、余白が大きく、肝心の文字は小さくなって読み取りにくいです
- また、枚数も9枚以上は入れられません。



## 外部プリンタでの印刷(推奨)

- 右の画面では「フルページサイズのスライド」にしておく
- その後、プリンタの下の「プリンタのプロパティ」を押す



## 外部プリンタでの印刷(推奨)

- 次にプリンタ側のレイアウト指定画面で、1枚あたり9ページないし16ページにする。
- 16にしても、通常の9よりは読みやすい。

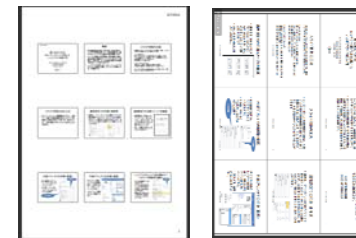


## ハンドアウトをメールで送る場合は？(PDFライター登録済の場合)

- プリンタの画面で、右の▼を押します。
- その中にAdobe PDFなど、PDF印刷用仮想プリンタが入っていればそれを選んで後は同じようにやります。
- 実際に紙に印刷しません。電子的に「印刷」してPDFファイルを作るイメージです。



## Before & After (1頁9枚の場合)



## PDFプリンタがない場合

- たとえば下記のようなソフトウェアをダウンロードしてインストールしてください
- <http://www.vector.co.jp/soft/winnt/writing/se501916.html>
- <http://www.vector.co.jp/soft/winnt/writing/se485115.html>
- いろいろありますので、ご自由に。
- 使用は自己責任で。

## PDF仮想プリンタでの枚数設定例

- Adobe PDFの場合
- 16枚がmaxです



## ハンドアウト作成マナー

- 質疑応答などでは、「資料のn枚目…」などというやりとりが多くあります。
- パワーポイントの挿入<ヘッダとフッタで、スライド番号をクリックして通番を入れておきましょう。
- ただし、発表スライドの枚数とハンドアウトスライドの枚数は異なるので、質疑時にはよく確認を。



## その他の工夫

- 文はできるだけ短く。1文最大2～3行。
- 文字部分のフォントはデフォルトの32より小さくしない(※今のこのフォントサイズが32です)
- これが28
- これが24
- これが20
- ハンドアウト用スライド作成時には、発表用スライドのカラーグラフの白黒化を。

GOOD LUCK!